

# 転倒骨折を防ごう

高齢者が寝たきりになる原因の一つが骨折。高齢者は転倒すると、約1割の人が足の付け根の大腿骨頭部を骨折するといわれる。こ

も倒れた際の衝撃を和らげる機能ばかりでなく、おしゃれ感や装着感にもこだわって開発されており、ヒッププロテクターの認知度が上がりそうだ。

## ■使い手の声を反映

ベンチャー企業「とみ」（東京都板橋区）と、中小企業への支援事業を行う地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターが4年をかけて共同開発したのが「ビーチパンツ」（9900円）。5月から、インターネッ

## 高齢者向け、ヒッププロテクターで衝撃緩和

亡くしている。「以前から何度が転倒し、家族が外出させなかったので歩く能力が急に衰えてしまった。転倒を怖がり引きこもるのではなく、これを使って、多くの人が外出を楽しんでほしい」と話す。男性向けの商品化も計画している。

## ■寝ているときも

ユニバーサルファッション協会名誉会長の今井啓子さんが中心となって3年前に設立したユニバーサルデザイン製品の開発を行う



「ほねガード」を開発した今井さん（右）  
東京都品川区のユニバーサルファッション協会

「ビーチパンツ」を開発した松本さん（右）  
東京都墨田区の地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター



（9975円かする人が少なくない。寝ているときにも、はいてもらいたい」とも。  
ポリウレタン製のパンツは重さ39  
g、厚さ7・2  
mm。サッカーク  
ルの表面のように六角形を組み合わせたデザインが特徴だ。「体の形や動きによって可動するのを着けてい  
るのを忘れるほ  
ど」と、今井さん  
はいう。  
3月から、百貨  
店や同協会の認定店などで販売を始め、初回製造分の500個はすぐに完売。パ  
ットの技術は今後、子供用のヘルメットやスポーツ用のサポーターなどにも応用する計画という。  
今井さんは「骨折して病院に運ばれてくる高齢者でヒッププロテクターを着けている人はいなかった。おしゃれができて毎日、着けられる商品が必要だと感じたと振り返る。また、「夜、トイレに行くために起きたときや、朝起きてすぐのときなどに転んで骨折

慶友整形外科病院リハビリテーション科の大高洋平部長（リハビリテーション医学）は、骨折予防の手段として、ヒッププロテクターの有効性を認めたい」とも。  
■デザインも向上

「ほねガード」を開発した今井さん（右）  
東京都品川区のユニバーサルファッション協会

問合わせは、「ビーチパンツ」がスタジオ・トミ（http://www.studio-tomi.co.jp/03-3558-2455）、「ほねガード」がナイガイ（03-5822-3817）。